

<報道発表資料>

令和 7 年 10 月 10 日

京都市都市計画局都市景観部景観政策課

## 「ワタシが選ぶ京都景観賞！」ワークショップの開催

京都市では、平成 19 年の「新景観政策」以降、京都ならではの素晴らしい景観を保全・創出していく政策を実施しています。今回、その政策検証を図るための意見交換の一環として、主に 20 代以下の高校生や大学生、社会人など、若い方が魅力的に感じる景観を考えるワークショップを開催します。

第 1 回の開催では、身近な事例を交えた同世代の人たちとの意見交換やゲストークを実施し、第 2 回の開催では、参加者同士でオリジナルの京都景観賞を企画してみるなど、楽しみながら魅力的な景観を考えるプログラムを企画しています。

### 【開催概要】

- 日 時 第 1 回：令和 7 年 11 月 3 日（月・祝）午前 10 時～午後 0 時 30 分  
第 2 回：令和 7 年 12 月 7 日（日）午後 3 時～午後 5 時 30 分  
参加者は第 1 回、第 2 回いずれにも参加していただきます。  
※ 終了時刻は予定です。
- 場 所 京都市役所 庁舎内の会議室等  
（参加者の集合場所・使用する会議室等は、事前にメールで御案内します。）  
〒604－8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地  
市バス「京都市役所前」下車 徒歩約 3 分  
地下鉄東西線「京都市役所前」下車 徒歩約 5 分  
※ 御来場の際は、公共交通機関を御利用ください。
- 対 象 どなたでも（主に 20 代以下の高校生や大学生、社会人を対象）
- 定 員 30 名
- 参加費 無料
- 申 込 以下 URL または二次元コードから京都市ホームページに飛び、  
参加申し込みフォームに御入力してください。  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000346585.html>  
申込期間：令和 7 年 10 月 10 日(金)～令和 7 年 10 月 29 日(水)  
※ 希望者多数の場合は抽選とします。
- 主 催 京都市（協力：特定非営利活動法人 京都景観フォーラム）



● 参考（第1回のゲストスピーカー）

・加登 遼 氏

（修徳まちづくり委員会 事務局 大阪公立大学 大学院生活科学研究科 居住環境学分野 講師）



博士（工学）。京都大学デザイン学大学院連携プログラム修了。専門は都市計画・まちづくり・都市解析。

2016年に修徳学区に移住して、修徳まちづくり委員会や修徳景観づくり協議会などを通して、地域でのまちづくりに携わる。2025年に、未来の京都まちづくり推進表彰（まちづくり分野）を受ける。「生活」を切り口に、人口減少に伴う都市問題に対して、都市計画・まちづくりの視点から研究とデザインに取り組む。

・岩崎 達也 氏

（株式会社マガザン 代表取締役）



1985年生、兵庫県三木市出身、山田錦農家の長男。京都市在住。京都精華大学、京都芸術大学非常勤講師。神戸大学農学研究科プロジェクト担当。

2016年株式会社マガザンを創業。複合施設マガザンキョウトにて、雑誌の特集のようにシーズン毎に空間で様々な企画を展開。2022年食の循環プラットフォーム CORNER MIX を、2023年に松竹株式会社のパートナーとして東銀座に伝統文化と未来を接続する媒体 SHUTL を開業。ローカルカルチャーの体験価値を拡張する挑戦を続けている。京都起業家大賞優秀賞、グッドデザイン賞など受賞多数。同賞審査員歴任。京都発炭素ライフスタイル 2050 メンバー等。吉田酒造店、稲とアガベ、農家、農業改良普及センター等での研修を含む7年間の構想と準備を経て、2024年11月に山田錦の共農共杯プロジェクト「心拍」

を立ち上げ。

● 参考（当ワークショップの位置づけ）

京都市では、平成 19 年 9 月から実施している新景観政策において、歴史都市・京都にふさわしい景観の保全、再生及び創造を目指し、継続的に景観政策を検証し、進化させていくため、景観政策の検証結果などに対する市民の皆様からの評価、課題抽出やその改善に向けてのアイデア出しを行う「京都市景観市民会議」を平成 23 年度から開催しています。

今回のワークショップはその景観市民会議の一環として実施するものです。

<お問合せ先>

京都市 都市計画局 都市景観部 景観政策課

電話：075-222-3397